

出光



2016年11月29日

各位

会社名 出光興産株式会社
代表者名 代表取締役社長 月岡 隆
(コード番号:5019 東証第1部)
問合せ先 経理部 IR 室長 徳光 孝治
(TEL: 03 - 3213 - 9307)

千葉ケミカル製造有限責任事業組合におけるエチレン装置の収益力強化について

出光興産株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:月岡 隆)と三井化学株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:淡輪 敏)は、両社共同で運営している千葉ケミカル製造有限責任事業組合(以下、当LLP)の、エチレン装置を収益力強化に向け改修を行うことにいたしましたのでお知らせいたします。

日本の石油化学業界は中東及び中国における大型石化設備の新增設、北米におけるシェールガス由来のエチレン台頭などにより、国際競争力の強化が必須の状況にあります。出光興産と三井化学は2010年に千葉地区にて当LLPを設立し、両社のエチレン装置の運営統合を通じて、アジア地区トップレベルの競争力を持つエチレンセンターを目指しております。

今般、当LLPが所有する姉崎工場エチレン装置(出光構内)が、出光興産千葉製油所内のLPG輸入施設に隣接している強みを活かし、当装置のプロパンの処理を拡大することいたしました。これによりエチレン装置の原料多様化による収益力強化を図ります。改修工事は2017年秋、実施予定です。なお本件は、工場の省エネルギー化を支援する経済産業省の「平成28年度 エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」に採択されています。

尚、本件による当社2016年度連結業績への影響はありません。

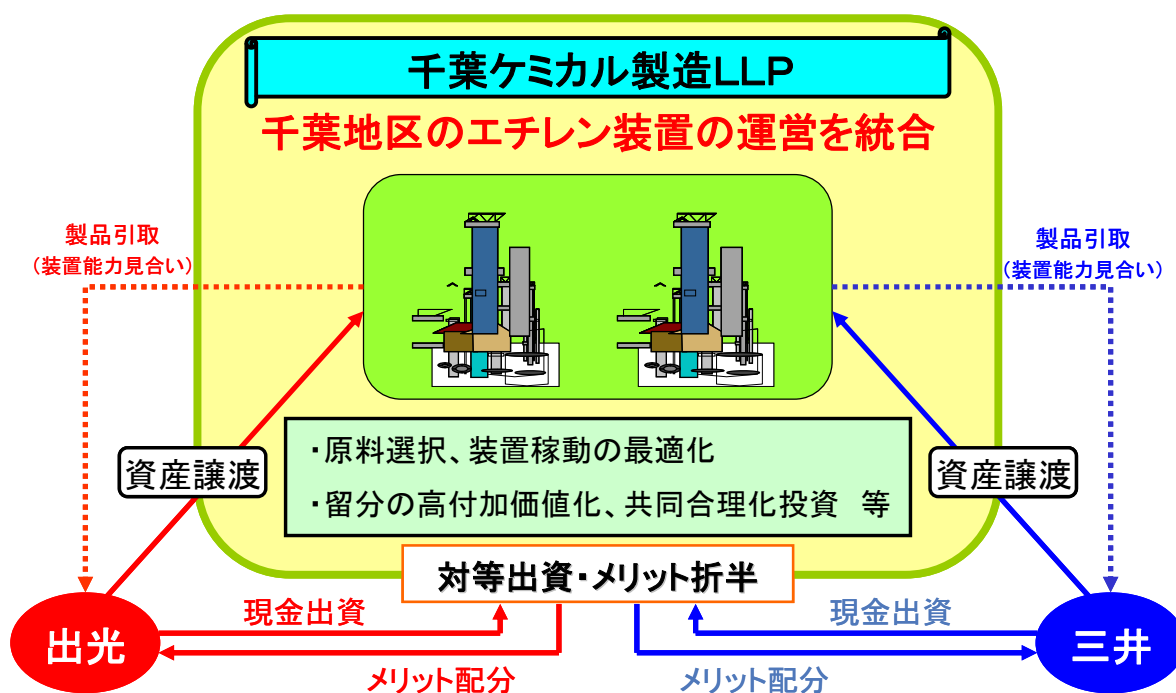
出光興産と三井化学は、今後とも構造改革を進め競争力の更なる強化を図ってまいります。

以上

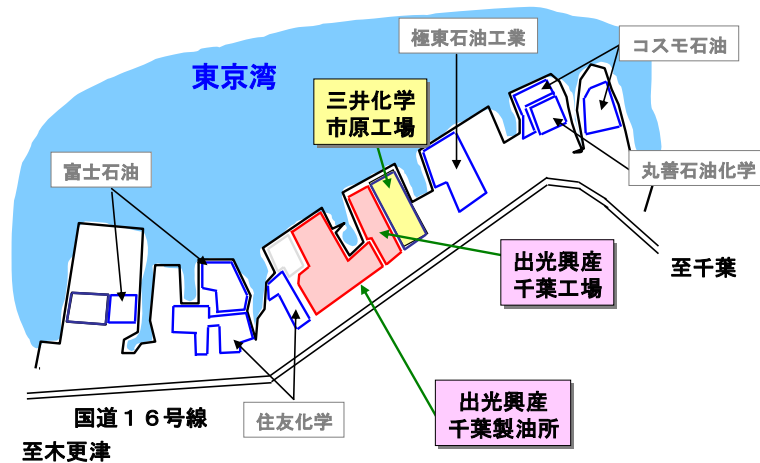
参考1. LLP概要

項目	内容
名称	千葉ケミカル製造有限責任事業組合 (LLP)
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 千葉地区におけるエチレン装置の運営の統合 エチレン、プロピレン、その他の留分の生産 上記生産品目の、組合員（出光および三井）への供給
役割と運営	<ul style="list-style-type: none"> エチレン、プロピレンを始めとした石化原料のコストミニマムを追求 生産機能を中心としたLLPで、コストセンターとしての運営が原則
所在地	東京都千代田区丸の内3-1-1（出光本社内）
出資	<ul style="list-style-type: none"> 出資金：2億円（出光50%、三井化学50%）
エチレン生産能力	<ul style="list-style-type: none"> 92万トン/年（出光エチレン装置 37万トン、三井エチレン装置 55万トン）
職務執行者	<ul style="list-style-type: none"> 出光興産:後藤 英樹（化学事業部次長） 三井化学:岡本 和人（基礎素材事業本部石化原料事業部部長）

参考2. LLPのスキーム



参考3. 両社事業所の位置関係図



参考4：LLP制度の概要

LLP制度は、企業間の連携や共同事業促進を目的として、我が国に2005年に導入された。

通常の株式会社と比較した、主な特徴は以下のとおり。

項目	株式会社	LLP
法人格	あり	なし
出資者責任	有限責任	有限責任
課税	当該会社に課税	出資者に課税（構成員課税）
会社運営	株主総会・取締役会等の機関が必要	当事者自治による柔軟な運営が可能

※「千葉ケミカル製造」は、大型生産設備の運営を伴うLLPとして我が国初のケースです。